

品質工学月例研究会会員各位

品質工学月例研究会（中部品質管理協会）

日時 2013年2月2日 10:00～16:30

場所 ITEQ研修ルーム

メンバー ITEQ、井上氏、伊藤氏、アイシン、山口氏 東亜合成、森氏
川畑氏、池田氏 日東電工 牧野氏

目次

- ① MT法を解析する前の特徴量抽出の件（池田氏）
- ② イノベーションを起す新技術・新商品テーマ抽出法の研究
- ③ 品質工学の研究

内容

- ① MT法を解析する前の特徴量抽出の件（池田氏）
 - * MT法を使用して波形データを解析する時に、普通にデータのみを解析しても、異常を検出出来ない場合がある。波形データより特徴量と存在量を簡単に作成出来るエクセルファイルを池田氏が作成してくれたので、検討を実施した。
 - * 波形データの数値をエクセルに入力し、分割数と繰り返し数を入力することにより、存在量と変化量を算出した結果を出力してくれる。例として、4分割する場合、生データと、各分割線のそれぞれに、存在量と、変化量があるので、合計9項目となる。検出感度を上げることが出来る。例として、広い範囲の薄いしみ、長いシワなどを検出したものがある。
- ② イノベーションを起す新技術・新商品テーマ抽出法の研究
 - * 今回は最上流の会社事業戦略や製品戦略の策定法を調査した。
 - * SWOT分析（東亜合成、森氏）
 - ・ SWOT分析についての基本的な進め方や注意する点や疑問点などについて説明を実施した。
 - ・ SWOT分析を行い、これを眺めていても、戦略が見えてくるようなものではない。（当然だけれども）
 - ・ SWOT分析は、内部環境や外部環境をきちんと確認する現状把握には役立ち、その分析をもとにTOWS発想（クロスSWOT分析）へ繋げるなど 戦略を考えるフレームワークの中の一の手法として考えた方が良い。
 - * 戦略パラダイム（戦略の理論や枠組みフレームワークの事）（ITEQ、井上氏）
 - ・ 戦略とは、「個人や組織が目的を設定し、その達成手段とビジネスモデルを明らかにし、到達への道筋を明示すること」
井上氏より、判断することを短縮する為の道具として、良く活用される主な戦略思考5つの紹介があった。
 - 1) SWOT分析・TOWS発想
 - 2) ポジション（競争優位）による競争戦略
 - 3) RBV（リソース・ベースド・資源ベース）
 - 4) 機動戦略（ロングテールやフリーミアムなど）
 - 5) 市場プラットフォーム戦略
 - ・ 今後の研究テーマ
 - * 研究会としては、分野の違うメンバーなので、比較的情報が得やすいと思われる牛井メーカーを対象として、戦略立案を実施して行くこととした。

③品質工学の研究

- MT法については、特徴量を抽出した事例について研究をする。
- ロバスト設計については、機能について深堀を実施する。過去の研究発表事例について、メンバーで、実施していくこととした。
- 各メーカーの事例についても、研究会で相談して行くこととする。

次回の開催日 2013年3月9日(土)